

会場アクセス

ホテルグランドヒル市ヶ谷 (防衛省隣り・靖国通り沿い)

東京駅からは最寄りの「市ヶ谷駅」まで、
JRで御茶ノ水駅または秋葉原駅経由 約20分

- JR中央・総武線「市ヶ谷駅」徒歩3分
- 都営新宿線「市ヶ谷駅」4番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分
- 東京メトロ南北線「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1
電話番号：03-3268-0111

駐車場：61台（20分330円、宿泊のお客様は1泊1,100円。
詳しくはホテルグランドヒル市ヶ谷にお問い合わせください）

地図は以下をご覧ください。
<https://www.ghi.gr.jp/access/>

国際安全保障学会 創立50周年記念学術集会

会員の皆様

同封のハガキで早めに出欠をお知らせください。
先着順で受け付けます。収容人数の都合でお断りする
こともあり得ますので、どうかご了承ください。

2023年6月3日（土）
ホテルグランドヒル市ヶ谷
新宿区市谷本村町4-1

会長挨拶

国際安全保障学会会長 赤木完爾

国際安全保障学会は、今年で創立 50 周年を迎えます。1973 年に防衛学会として誕生した学会は、2000 年に国際安全保障学会と改称し、今日に至りました。発足以来、わが国ではきわめて類のない、軍事・安全保障問題に特化した学術研究団体として活動を続け、2000 年以降は、その中核的な研究領域に加えて、非伝統的な安全保障問題（テロリズム、サイバー、環境など）にも関心の幅を広げて、複雑化する安全保障問題に挑戦して参りました。

国際安全保障研究には、学問分野として確立された領域が存在せず、問題や課題が存在するのみであるとの見解があります。こうした主張の当否は別としても、安全保障研究がすぐれて学際的な取り組みを必要とすることは言うまでもないところです。他方、わが国特有の国内冷戦の桎梏は、研究の環境に少なからぬ影響を与えてきました。

冷戦後と呼ばれた時代が終わり、大国間紛争への回帰が顕著になった今日、国際安全保障の研究と教育について、その歴史と現状、そして将来への展望を、様々な視角から縦横に語っていただくのが、学会創立 50 周年を記念するこの学術集会の目的です。研究と教育の将来に向けて、示唆的な議論が活潑に展開されることを強く期待しております。

プログラム 2023 年 6 月 3 日（土）

会場：ホテルグランドヒル市ヶ谷 3 階「珊瑚」

13:30 受付開始

14:00 ラウンドテーブル第 1 部

「危機に立つ日本—安全保障研究・教育の在り方」

中西 寛（京都大学）

岩間 陽子（政策研究大学院大学）

足立 研幾（立命館大学）

五十嵐隆幸（防衛研究所）

司会 阪田 恭代（神田外語大学）

15:45 ~ 16:00 休憩

16:00 ラウンドテーブル第 2 部

「歴代会長が語る学会の歩みと将来への期待」

西原 正（防衛大学校名誉教授）

高木誠一郎（政策研究大学院大学名誉教授）

土山 實男（青山学院大学名誉教授）

司会 赤木 完爾（会長・慶應義塾大学名誉教授）

17:00 ~ 19:00 懇親会 / 立食

ホテルグランドヒル市ヶ谷 2 階「芙蓉」